

## 平成26年入込観光客総評

平成27年6月 箱根町企画観光部観光課

平成26年の入込観光客は、円安やビザの大幅緩和、消費税免税制度の拡充などを受け訪日外国人客が過去最高を更新したことを背景に、当町においても外国人観光客にけん引され、前年に続き20,000千人台を超える結果となった。

入込観光客総数は、21,190千人（前年比101.6% 333千人の増）と前年を上回った。その内訳は、宿泊客が4,607千人（前年比97.7% 110千人の減）、日帰り客が16,583千人（前年比102.7% 443千人の増）となっている。

### 1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,867千人（前年比100.6% 24千人の増）、寮・保養所が678千人（前年比85.7% 113千人の減）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が61千人（前年比74.3% 83千人の減）となった。寮・保養所、その他の施設の減少については、施設の閉鎖・休業が大きな要因となった。

一般客は、冬季の記録的な積雪の影響などもあり4,344千人（前年比96.5% 153千人の減）と前年を下回ったものの、外国人観光客は217千人（前年比129.2% 49千人の増）と大幅に増加。修学旅行生については46千人（前年比95.6% 2千人の減）と若干の減少となった。

### 2 日帰り客について

日帰り客は、登山電車の新型車両の運行開始や、公共交通機関の乗車パスの好調、町内観光施設の各種企画展実施等の企業努力などにより、大雪のあった2月と消費税増税のあった4月以外の月では、前年を上回る結果となった。

また、宿泊客同様に、好調な外国人観光客が日帰り客数を大きく底上げしていると考えられる。

### 3 月別入込み状況について

1月は、正月休みが長期になったことに加え、恒例の東京箱根間往復大学駅伝が90回記念大会となり参加校が23校となったこともあり、前年の入込客数を上回った。2月は、2度の大雪により数十年ぶりと言われる記録的な積雪となり、主要幹線道路も長期に渡り通行止めになるなど、大きな影響が出た。3月は、春休みに入った学生や、中国・タイなどのアジア圏からの観光客で賑わいが見られた。4月は、比較的天候に恵まれ、桜やミズバショウ目当ての観光客が目立ったが、消費税の増税もあってか入込客数は伸びなかった。5月は、ゴールデンウィークを中心に例年であれば国内客が多い時期であるが、今年は外国人観光客が目立ち、その好調ぶりが伺えた。7月、8月の夏休みシーズンは、「あべのハルカス」や新テーマパークがオープンした「ユニバーサルスタジオジャパン」のある関西方面、世界文化遺産に登録された富岡製糸場が注目され、その影響が懸念されたものの、海の日を含む三連休や、お盆休みを中心に町内各所で混雑が見られた。10月は、前月末に長野・岐阜の両県にまたがる「御嶽山」が噴火したことに関し、当町にも問い合わせが相次いだ。入込客数に大きな影響はなかった。また「紅葉の当たり年」と言われたこともあり、大学生のグループや中高生の登山グループで賑わった。11月は、登山電車の新車両が運行を開始し、メディアにも多数取り上げられるとともに、APEC休暇のあった中国や、学生の長期休暇の時期となったシンガポールからの観光客が目立った。12月は、年末の休みが長期になったこともあり、家族連れや若者のグループに加え、外国人観光客が引き続き好調であった。

なお、平成26年に最大の入込みがあったのは、夏休みの8月であり、次いで仙石原すすき草原、紅葉が見頃になった11月と、例年同様の傾向であった。

### 4 まとめ

平成26年は、円安に加え、羽田空港国際線ターミナル拡張に伴う発着便の増便や、東南アジアでの観光ビサの追加緩和などの好要因を背景に、訪日外国人客が過去最高を更新した。

当町においては、2月の記録的な大雪により大きな影響を受けたものの、東南アジアの新たな市場でのプロモーションの実施や、国や近隣自治体と連携した誘客事業を展開するなどし、外国人観光客の顕著な増加が図られた。

また、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が控える中、箱根登山鉄道とスイス・レーティッシュ鉄道との姉妹提携35周年にあわせ、スイス・サンモリッツと友好都市を締結し、両都市間の民間交流を促進しつつ、世界に誇れる国際観光地としての魅力の強化を図る一方、より質の高い観光地づくりと地域の活性化を目指し、JTBグループと観光振興に関する包括的連携協定を締結したものである。

さらに、(一財)箱根町観光協会においては、箱根全山ホームページによる旬な情報発信の強化や、エヴァンゲリヲン AR スタンプラリーを開始するなど、国内客の誘客に向けた新たな取り組みを展開した。

これらの取り組みにより、入込客数全体としては、前年に続き20,000千人台を超える結果となったものである。

平成27年は、外貨自動両替機の設置、Wi-Fi自動接続アプリの開発・導入、道路状況カメラの整備などの受入環境の整備を図りながら、圏央道、小田原箱根道路の開通や北陸新幹線の開通なども追い風に、国内外に向けた誘客事業に積極的に取り組むことにより、入込観光客数の増加に努めていきたい。

# 平成26年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	288,403	233,584	376,168	310,634	316,378	277,925	305,061	440,930	320,807	335,894	365,269	316,374	3,867,427	100.6%
(内数:一般客)	257,186	221,766	359,482	281,873	295,404	259,020	283,701	421,998	300,394	298,333	336,338	297,503	3,612,998	99.4%
(内数:外国人客)	11,217	11,818	16,686	28,599	16,229	14,242	18,027	16,439	15,263	23,648	20,164	17,948	210,280	130.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	162	4,745	4,663	3,333	2,493	5,150	13,913	8,767	923	44,149	95.7%
民宿・国民宿舎 ユースホテル等	2,063	1,207	2,712	2,075	2,396	1,663	2,485	4,084	2,431	2,585	3,056	2,266	29,023	93.0%
(内数:外国人客)	235	216	491	746	571	345	757	823	587	759	708	569	6,807	101.9%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	42	0	56	198	61	76	102	54	0	589	-----
ペンション	265	85	440	216	334	226	225	545	237	284	353	266	3,476	68.0%
(内数:外国人客)	0	0	0	0	0	2	0	16	0	0	3	0	21	-----
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15	115.4%
キャンプ場・コテージ	1,168	1,112	2,237	1,368	2,246	1,741	3,327	6,675	3,042	2,133	1,968	1,799	28,816	62.3%
(内数:外国人客)	20	10	0	20	60	10	30	80	10	10	0	0	250	57.6%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	300	100	100	0	300	200	0	0	1,000	58.8%
寮・保養所	47,672	26,901	59,436	55,418	60,020	48,784	55,634	92,572	52,563	54,587	68,388	56,014	678,009	85.7%
宿泊客計	319,571	262,889	440,993	369,711	381,374	330,339	366,732	544,806	379,100	395,483	439,034	376,719	4,606,751	97.7%
(内数:外国人客)	11,472	12,044	17,177	29,365	16,860	14,599	18,814	17,358	15,860	24,417	20,875	18,517	217,358	129.2%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	204	5,045	4,819	3,631	2,554	5,526	14,215	8,836	923	45,753	95.6%
日帰客	1,092,888	852,542	1,381,138	1,377,067	1,460,178	1,232,308	1,301,159	1,935,158	1,404,398	1,444,969	1,752,619	1,348,825	16,583,249	102.7%
観光客総数	1,412,459	1,115,431	1,822,131	1,746,778	1,841,552	1,562,647	1,667,891	2,479,964	1,783,498	1,840,452	2,191,653	1,725,544	21,190,000	101.6%

## 過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成16年	4,633,120
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H16年比	対前年増減比(人)
17	4,300,738	92.8%	92.8%	△ 332,382
18	4,618,012	107.4%	99.7%	317,274
19	4,722,093	102.3%	101.9%	104,081
20	4,727,069	100.1%	102.0%	4,976
21	4,525,157	95.7%	97.7%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	100.3%	120,896
23	4,280,639	92.1%	92.4%	△ 365,414
24	4,631,951	108.2%	100.0%	351,312
25	4,716,936	101.8%	101.8%	84,985
26	4,606,751	97.7%	99.4%	△ 110,185

(2) 日帰客数			平成16年	14,423,880
年	日帰客数(人)	対前年比	対H16年比	対前年増減比(人)
17	14,604,262	101.3%	101.3%	180,382
18	14,631,988	100.2%	101.4%	27,726
19	15,539,907	106.2%	107.7%	907,919
20	15,949,931	102.6%	110.6%	410,024
21	15,123,843	94.8%	104.9%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	106.7%	266,104
23	13,390,361	87.0%	92.8%	△ 1,999,586
24	14,806,049	110.6%	102.6%	1,415,688
25	16,140,064	109.0%	111.9%	1,334,015
26	16,583,249	102.7%	115.0%	443,185

(3) 観光客総数			平成16年	19,057,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H16年比	対前年増減比(人)
17	18,905,000	99.2%	99.2%	△ 152,000
18	19,250,000	101.8%	101.0%	345,000
19	20,262,000	105.3%	106.3%	1,012,000
20	20,677,000	102.0%	108.5%	415,000
21	19,649,000	95.0%	103.1%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	105.1%	387,000
23	17,671,000	88.2%	92.7%	△ 2,365,000
24	19,438,000	110.0%	102.0%	1,767,000
25	20,857,000	107.3%	109.4%	1,419,000
26	21,190,000	101.6%	111.2%	333,000